

事業名称		達成状況の評価
事業名	県営かんがい排水事業	A
整理番号	24-1	目標を完全に達成した。(達成割合100%)
事業の種類	かんがい排水施設の新設又は更新	
市町村名	茅野市	配慮した項目 35
箇所名	滝之湯堰地区	= 100%
事業年度	平成24年度～平成30年度事業	配慮する全項目 35
事業概要		
目的	滝之湯堰は未改修の土型水路区間が多く、漏水による用水不足や、長年の浸食により水路底高の低下等により維持管理に多大な労力を要している。今回その未整備区間の3.2kmを整備し、用水の安定供給と維持管理の低減を図り、農業経営の安定化を図る。	
事業概要	用水路工 L=3,240m	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 鳥獣保護法の鳥獣保護区	文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地
その他	なし	
自然的環境要素	環境配慮の方針	環境配慮の実施内容 (環境配慮の方針と異なる場合はその理由)
大気環境	【大気汚染の防止】	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	適正に実施
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	適正に実施
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	適正に実施
	【騒音、振動の防止】	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	適正に実施
水環境	【水質汚濁の防止】	
	・農薬を使用しない又は使用量を削減する。	適正に実施
	【水循環の保全】	
地形・地質	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・地域の特性を形成する重要な地形・地質の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【改変面積の最小化】	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	適正に実施
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	適正に実施
	・工事により一時的に改変する自然環境の原形復旧に努める。	適正に実施
野生動植物	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・自然性の高い地域や希少な動植物の生息・生育地等、自然環境の保全上重要な地域の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・河川・水路に横断構造物を設置する場合は、水棲生物の自由な移動を確保する。	適正に実施
	・回避措置を基本とするがそれができない場合は、重要な動物を生息適地へ移動させる又は生息環境を創出し移動を促す。	適正に実施
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・重要な動物等の繁殖期、産卵期の工事を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【地域独自の生物多様性の保全】	
	・表土を植生用客土として活用し、在来種による植栽・緑化を行う。	適正に実施
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・落下した小動物が脱出できる側溝、透過型えん堤、多段式落差工、自然石空張護岸等動植物への負荷の少ない構造を検討	適正に実施
	・自然石、自然素材又は多自然型製品等動植物への負荷の少ない素材を使用する。	適正に実施
・希少野生動植物の生息・生育環境への負荷の低減	適正に実施	

景観	【すぐれた景観の保全】	
	・主要な景観資源の改変を出来るだけ避け、影響を及ぼすおそれがある場合は修景に努める。	適正に実施
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	適正に実施
	【良好な景観の育成】	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	適正に実施
	・樹木の伐採は出来るだけ避ける又は植樹等による緑化に努める。	適正に実施
自然とのふれあい	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・不特定多数の人が利用している自然とのふれあいの場又はふれあい活動に重大な影響を与える周辺環境の改変を出来るだけ避ける。	適正に実施
	【自然とのふれあい空間の創出】	
	・遊水施設やせせらぎ水路、池、親水護岸、階段や飛び石など水辺空間の整備に努める。	適正に実施
	・河川、水路などの暗渠化は避けるよう努める。	適正に実施
文化財等	【文化財等への配慮】	
	・原則として史跡・名勝・天然記念物の指定地内への立地は避ける。また、史跡等の周辺や埋蔵文化財を包蔵する可能性の高い土地への立地を出来るだけ避ける。	適正に実施
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	適正に実施
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	適正に実施
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	適正に実施
	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	適正に実施
・自然石、県産木材等環境に負荷の少ない資材の使用に努める。	適正に実施	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	適正に実施
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	適正に実施
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	適正に実施